

昭和 48 年度事務および事業報告

昭和 48 年 4 月から 49 年 3 月に至る間に行なった事務および事業の概要は次のとおりである。

1. 会 員

名誉員・正員・准員・賛助員の異動

	名誉員	正員	准員	賛助員	合計
入 会	—	631	647	—	1,278
正員→ 名誉員	+6	-6	—	—	0
准員→ 正員	—	+644	-644	—	0
正員→ 准員	—	-87	+87	—	0
退 会	—	466	44	—	510
死 亡	—	39	0	—	40
除 名	—	789	83	—	872
復 活	—	189	—	—	189
差 引	+5	+77	-37	—	+45

事業維持員の異動

	社数	口数		社数	口数
入 会	27	93	口数減少	1	1
退 会	11	14	期末現在	502	2,339
口数増加	47	105			

期末会員数

	48年3月末	49年3月末	増減
名 誉 員	39	44	+5
正 員	19,301	19,378	+77
准 員	1,547	1,510	-37
賛 助 員	1	1	0
事業維持員	486	502	+16
合 計	21,374	21,435	+61

期末支部別会員数

	名誉員	正員	准員	賛助員	合計
東京支部	36	10,162	413	—	110,612
関西 "	4	3,545	256	0	3,805
九州 "	0	951	196	0	1,147
東北 "	1	681	108	0	790
東海 "	2	1,995	252	0	2,249
中国 "	1	855	50	0	906
北海道 "	0	374	108	0	482
北陸 "	0	405	60	0	465
四国 "	0	410	67	0	477
合 計	44	19,378	1,510	—	120,933

備考 東京支部会員数のうち茨城支所所属会員は正員 1,313 名、准員 13 名である。

2. 会合数

本期会における諸会合数は、回で、前期 1,336 回に比べ 30 回を増加した。

通常総会	1 回
評議員会	4 回
理事会	22 回
収支改善委員会	11 回
編修企画委員会	11 回
編修企画分科会	4 回
論文委員会	11 回
ニュース委員会	12 回
学界時報委員会	12 回
編修幹事引継会	1 回
広告改善委員会	11 回
事業維持委員会	1 回
常置連合大会企画委員会	6 回
電気学会全国大会委員会	4 回
功績者選定委員会	4 回
講習会企画委員会	2 回
桜井資金選考委員会	1 回
前会長・前副会長	1 回
文部省科学研究費等審査	1 回
会	1 回
講習会企画委員会	2 回
電気規格調査会	203 回
調査研究委員会	746 回
各種研究会	122 回
電食防止研究委員会	25 回
誘導調査特別委員会	3 回
日本 CIGRE 国内委員会	29 回
電気加熱技術協会	17 回
通信教育会	98 回
電気・電子通信学会役員	—
懇談会	1 回

合 計 1,366 回

3. 規定の制定および改正

褒賞規程および細則の改正

進歩賞の対象が現行規程ではハードウェアを主体に置いた表現に

なっているため、ソフトウェア面をも対象とすべきであり、また現行規程では受賞し得る時点について疑問を生ずる場合が想定されるので、規程の一部を改正した。なお「投票数」に疑問を生ずる場合が想定されるので細則の一部を改正した。(48 年 5 月号本会記事に掲載)

また、進歩賞および論文賞の選考では、それぞれ特別委員会で予選を行なうのであるが、その結果が本選にあまり反映されない憾があるので、予選における当選数を受賞数の 2 倍にしたことおよび進歩賞においても当選圏内に同点者が出た場合には、そのすべてを当選とすることと改正した。(48 年 10 月号本会記事に掲載)

論文規程付則の追加

論文の投稿は原則として個人名に限られていたが、特定の条件に適合する場合には、グループ名による投稿も認めることとした。(48 年 10 月号本会記事掲載)

通信教育会規則の一部改正

「理事長が事故あるときおよび専務理事が欠員または事故あるときは常務理事が代理する」および「顧問を必要と認めたときは、理事長は、電気学会理事会に諮り、これを選任する」を追加した。(48 年 7 月号本会記事掲載)

4. IEEE との入会金相互免除協約成立

1973 年 11 月 27 日付で上記協約が成立した。これによって、本会会員は、IEEE に入会手続きをとる場合、本会の在会証明を添付すれば、入会金は免除されることとなった。

5. 功績者の表彰

48 年 5 月 19 日 第 61 回通常総会において、次の諸君に賞状、賞牌および賞金を贈呈した。

電気学会功績賞 三好保憲君
電力賞 (福田節雄賞付)

桑原 進君
同 (福田節雄賞付) 伏見光造君
電気学会振興賞
進歩賞 (福田節雄賞付)

原田達哉君・河村達雄君・岸 敬二君

進歩賞 安生見一郎君・新村尚人君・高木武夫君

同 小野俊一郎君・藤原一志君・湯藤大典君

同 安田正行君・藤村哲夫君

同 吉本太司夫君・鈴木武春君・竜沢茂雄君

同 渡辺達雄君・沼尻文哉君・芳賀 薫君

論文賞 (福田節雄賞付) 尾野孝夫君・百瀬信正君

論文賞 宇治輝幸君・金指元憲君

同 縄田正人君・河村英昭君・家田正之君

同 上村勝彦君・松木純也君

同 小林俣史君・横山隆一君・田村康男君

同 佐藤弘之君

著作賞 (福田節雄賞付) 町田武彦君

6. 桜井資金による海外派遣者

昭和 48 年度中に開催された電力技術に関する国際会議に、桜井資金により派遣された出席者は下記のとおりである。

佐藤弘之君 (電総研) 高圧直流・交流送電国際会議

7. 大会

48 年度本会全国大会は、4 月 3 日から 6 日にわたって金沢大学教養学部にて開催され、48 年度連合大会は 10 月 11 日から 3 日間にわたり、日本電子工学院にて行われた。東京支部以外の各支部においては、10 月から 11 月にかけて、それぞれ支部大会を開催した。発表された講演数は次表のとおりで、これらへの参加者数は延人に達している。

	47年度	48年度	増 減
連 合 大 会 ⁽¹⁾	295	366	+ 71
全 国 大 会 ⁽²⁾	1,088	1,215	+127
関西支部大会	378	507	+129
九州 "	215	74	-141
東北 "	205	238	+ 33
東海 "	338	332	- 6
中国 "	155	147	- 8
北海道 "	151	169	+ 18
北陸 "	101	114	+ 13
四国 "	122	102	- 20
合 計	3,048	3,264	+216

備考

(1) 連合大会はシンポジウム、オリエンテーション付講演、パネル討論等 63 課題のほか、特別講演 2 件を行った。

(2) 全国大会では、以上のほか、特別講演 2 件、シンポジウム講演 74 件があった。

(3) 東京支部は、昨年にならない大会を中止したが、他の支部は全国大会に準じた方式で、電気関係学会各支部と共催した。

8. 講演会・講習会・見学会

本期間には、166 回を開催し、前年の 177 回に比べ 11 回減少した。参加者の概数は 16,000 人であった。

	講演会	講習会	見学会	合計
本 部	—	5	—	5
東 京 支 部	12	2	12	26
茨 城 支 部	2	—	2	4
新 潟 地 区	3	—	2	5
関 西 支 部	25	3	4	32
九 州 "	7	—	—	7
東 北 "	16	—	1	17
東 海 "	10	3	2	15
中 国 "	19	—	6	25
北 海 道 "	10	1	1	12
北 陸 "	7	1	3	11
四 国 "	7	—	1	8
合 計	118	14	34	166

注：東京支部には「東京支部の集い」(講演

会および映画会) 1 回、関西支部には、准員および学生員のための定期講演会 15 回、東北支部には、地方講演会 2 回、東海支所には 50 周年記念事業 1 回を含む。

9. 雑誌・論文誌

本期間中における雑誌と論文誌を次のごとく発行した。

雑誌の総ページ数は 2,142 ページで前期より 56 ページの増、論文誌の総ページ数は 1,570 ページで前期より 78 ページの増であった。

雑 誌

巻・号	年・月	発行年月日 (本会図書 室公開日)	本文ベ ージ数	広告ベ ージ数
93・4	48・4	48・5・1	118	52
5	5	48・6・1	155	51
6	6	48・6・30	117	55
7	7	48・7・31	130	48
8	8	48・8・31	123	53
9	9	48・10・1	107	57
10	10	48・10・31	108	56
11	11	48・11・30	156	70
12	12	49・1・17	149	57
94・1	49・1	49・2・2	105	59
2	2	49・3・4	105	47
3	3	49・4・3	106	58
合 計			1,479	663

論文誌

巻・分冊・号	年・月	発行年月日	本文ベ ージ数	広告ベ ージ数
93・A・4	48・4	48・5・1	48	3
B・4	"	"	46	2
C・4	"	"	21	2
93・A・5	48・5	48・6・1	45	2
B・5	"	"	46	2
C・5	"	"	27	2
93・A・6	48・6	48・6・30	48	1
B・6	"	"	51	2
C・6	"	"	26	2
93・A・7	48・7	48・7・31	44	2
B・7	"	"	40	1
C・7	"	"	26	2
93・A・8	48・8	48・8・31	56	3
B・8	"	"	62	2
C・8	"	"	22	2
93・A・9	48・9	48・10・1	44	3
B・9	"	"	65	2
C・9	"	"	23	3
93・A・10	48・10	48・10・31	44	2
B・10	"	"	71	2
C・10	"	"	22	2
93・A・11	48・11	48・11・30	43	2
B・11	"	"	72	3
C・11	"	"	22	2
93・A・12	48・12	49・1・17	46	2
B・12	"	"	64	3

巻・分冊・号	年・月	発行年月日	本文ページ数	広告ページ数
93・C・12	48・12	49・1・17	25	2
94・A・1	49・1	49・2・2	38	3
B・1	"	"	54	2
C・1	"	"	20	2
94・A・2	49・2	49・3・4	44	3
B・2	"	"	48	3
C・2	"	"	22	2
94・A・3	49・3	49・4・3	46	2
B・3	"	"	46	3
C・3	"	"	23	2
合 計			1,490	80

雑誌内容

内 容	前期	本期
随想・論説	15	7
講 演	29	24
技術総説	8	61
特 集	201	176
解 説	187	173
ミニ解説	84	60
討議会・座談会	19	17
技術レポート	16	7
学生欄	10	30
学界時報	317	307
特許解説	6	5
ニュース	47	41
本会・調査委員会記事	116	128
論文概要	64	70
著者紹介	65	68
目次・会告	234	243
巻目次	32	31
その他(表紙 12 を含む)	38	35
小 計	1,488	1,479
広 告	594	663
製品紹介	4	0
小 計	598	663
合 計	2,086	2,142

10. 海外版・Electrical Engineering in Japan

海外版の形態変更を考慮していたため発行が遅れ現在6冊を印刷中である。また、本会論文英訳誌(Electrical Engineering in Japan, 米国 Scripta Publishing Corp. 出版)は本期間中5冊発行された。

11. 技術報告

本期間には、次の9冊を発行した。

号	発行年月	ページ数	報告件数
(I部) 105	48・5	40	3

号	発行年月	ページ数	報告件数
106	48・7	66	2
107	48・10	54	2
108	49・3	68	2
109	49・3	64	3
(II部) 22	48・6	58	1
23	48・9	74	1
24	48・10	72	1
25	48・12	66	1

(I) 部

105 号 IC における素子分離法
サイリスタ装置より発生
する高調波に関する諸
問題
最近 10 年間に製作され
た大容量同期機諸定数
の調査結果

106 号 水車発電機のスラスト軸
受実態調査
絶縁材料の部分放電(コ
ロナ)による劣化(Ⅲ)
内部放電劣化について
の予備的検討

107 号 IC 機能開発について
わが国における電力用並
列コンデンサの設置状
況、稼動状況および無
効電力配分状況に関す
る調査報告

108 号 球ギャップ、棒ギャップ
の直流フラッシュオーバ
特性
直流高電圧絶縁に関する
調査報告

109 号 UHV 系統の絶縁協調に
関する調査報告
超高圧地中送電線による
通信線への電磁誘導に
関する研究
冷却塔水冷式変圧器の温
度上昇限度

(II) 部

22号 電子回路部品用語の提案
23号 電力系統の再起電圧に関
する調査報告(その1)
24号 電力系統の再起電圧に関
する調査報告(その2)

25号 カットコア

12. 出版

(1) 電気工学ハンドブック(6
月発行)改訂新版再版5刷
(2) 電気関係規格(JEC)初版
JEC-187(1973)インパルス電圧
電流試験一般
JEC-188(1973)サイリスタ変換
装置

重版(17点)

(3) 「刊行図書」放電ハンドブ
ック(改訂新版)(放電ハンドブ
ック出版委員会)

(2月発行)

(4) 電気工学ポケットブック
(JR版)第3版第1刷(5月),
第2刷(8月)オーム社から発
行

13. 図書室

本期間の利用者は次の通りであ
る。

	会員	会員外	計
閲覧者(名)	813	798	1,611
コピーサービス(枚)	33,357	7,163	40,520

14. 電気規格調査会

JEC の制定・改訂および廃止

【制定】

JEC-189 逆阻止三端子サイリス
タ(48-7)

JEC-174C 高抵抗接地系用地絡
方向継電器(49-1)

【改訂】

JEC-190 計器用変成器(保護継
電器用)…JEC-143
(1967)の改訂

【廃止】

JEC-143 計器用変成器(保護継
電器用)

調査を終了した項目

(電気用語標準特別委員会)

1. 学術用語集「電気工学編」廃
語案の作成
2. 照明に関する専門用語選定

(第2次案)

3. がいしに関する専門用語選定

- (1) 一般, (2) がいし, (3) ブッシング, (4) 特性

(計器用変成器標準特別委員会)

1. JEC-190 計器用変成器 (保護継電器用)

(変換装置標準特別委員会)

1. JEC-189 逆阻止三端子サイリスタ

(保護継電器標準特別委員会)

1. JEC-174C 高抵抗接地系用 地絡方向継電器

(がいし標準特別委員会)

1. JEC-183 ブッシング(改訂)

(絶縁試験法標準特別委員会)

1. 抵抗容量分圧器の開発 (技術報告予定)

IEC 原案の審議

本年度の審議状況は、下表のとおりである。

委 員 会 名	C	O	S
文書	文書	文書	
TC1 用 語	2	2	
TC2 回 転 機	—	6	
SC2A タービン発電機	—	—	
SC2C 絶縁材料の分類	—	—	
SC2D 損失および効率	1	—	
SC2G 同期機定数	—	—	
TC3 図式シンボル	—	—	
SC3A ダイアグラム用図記号	10	12	
SC3B ダイアグラム、チャート、テーブル	2	1	
SC3C 装置用図記号	7	11	
TC4 水 車	—	5	
TC7 アルミニウム	—	—	
SC7A 裸アルミ合金導体	—	—	
TC8 標準電圧・周波数	1	1	
TC9 輸送用電気設備	2	—	
TC10 絶 縁 油	1	1	
SC10A 鉱物系絶縁油	3	4	
SC10B 合成絶縁油	—	4	
SC10C 気体絶縁油	3	—	
TC11 架空線路	—	2	
TC13 計 測 器	1	—	
SC13A 積 算 計 器	1	2	
SC13B 記 録 計 器	—	2	
SC13C 電 子 計 器	—	—	
TC14 変 圧 器	1	2	
SC14B 負荷時タップ切換器	—	—	
SC14C リ ア ク ト ル	—	—	
TC15 絶 縁 材 料	—	—	

委 員 会 名	C	O	S
文書	文書	文書	
SC15A 短 時 間 試 験	1	6	
SC15B 耐 久 試 験	1	1	
SC15C 仕 機	—	4	
TC16 端 子 記 号	1	—	
SC16A 回転機の端子記号	—	—	
TC17 ス イ ッ チ ギ ャ	—	1	
SC17A 高圧用スイッチギヤ	2	4	
TC20 電 力 ケ ー ブ ル	—	1	
SC20A 高 圧 ケ ー ブ ル	1	5	
SC20B 低 圧 ケ ー ブ ル	2	4	
TC22 変 換 装 置	—	1	
SC22A 水銀アーク変換装置	—	—	
SC22B 半 導 体 変 換 装 置	—	—	
SC22C イグナイトロン・エクサイトロン	—	—	
SC22D 電鉄用単相変換装置	1	1	
SC22E 電子制御直流電源	2	—	
SC22F 高圧直流送電用変換装置	—	2	
TC25 量・単位および文字記号	9	5	
TC27 電 気 加 熱	4	4	
TC28 絶 縁 協 調	1	—	
SC28A 低圧機器の絶縁協調	—	2	
TC32 ヒ ュ ー ズ	—	—	
SC32A 高 圧 ヒ ュ ー ズ	—	1	
SC32B 低 圧 ヒ ュ ー ズ	2	1	
SC32C ミニアチュア・ヒューズ	—	5	
TC33 電力用コンデンサ	2	2	
TC36 が い し	2	—	
SC36A ブ ッ シ ン グ	—	—	
SC36B 架空線用がいし	—	3	
SC36C 変電所用がいし	—	1	
TC37 避 雷 器	—	2	
TC38 計 器 用 変 成 器	—	2	
TC41 保 護 継 電 器	2	3	
SC41A 検 出 継 電 器	—	—	
SC41B 補 助 継 電 器	—	—	
TC42 高 電 圧 試 験	—	1	
TC57 ラ イ ン ト ラ ッ プ	2	2	
TC58 高導電材料の測定方法	—	—	
TC63 絶 縁 方 式	—	3	
TC66 電 子 測 定 装 置	2	4	
SC66A ゼ ネ レ ー タ	3	2	
SC66B オ シ ロ ス コ ー プ	1	1	
SC33C ブリッジおよびメータ	1	—	
TC68 磁性合金および磁性鋼	—	2	
TC73 短絡電流とその熱的・機械的影響	—	—	
計	77	131	

現在調査中の項目

(電気用語標準特別委員会)

- 専門分野別電気工学用語集の再整理
- 電子回路部品専門用語

3. 照明専門用語

4. がいし専門用語

(積算計器標準特別委員会)

1. JEC-191 多回路総合計器(規格委員総会審議中)

2. JEC-192 数字表示形最大需要電力表示装置(同上)

(静止誘導機器標準特別委員会)

1. JEC-168 変圧器(改訂案)

(回転機一般標準特別委員会)

1. JEC-146 回転電気機械一般(改訂案)

(しゃ断器標準特別委員会)

1. JEC-165 断路器(改訂案)

2. JEC-160 気中しゃ断器(改訂案)

3. JEC-181 交流しゃ断器(見直し)

(変換装置標準特別委員会)

1. JEC-可変電圧直流電動機駆動用サイリスタ変換装置

2. JEC-自励式逆変換装置

(保護継電器標準特別委員会)

1. JEC-174D 電力用継電器

2. JEC-174E 距離継電器

(同期機標準特別委員会)

1. JEC-114 同期機(改訂案)

(電力ヒューズ標準特別委員会)

1. JEC-175 電力ヒューズ(改訂案)

(水車標準特別委員会)

1. JEC-151 水車(改訂案)

2. JEC-177 ポンプ水車(改訂案)

(がいし標準特別委員会)

1. 油入変圧器用ブッシングの定格電流選定指針

(電力用通信設備標準特別委員会)

1. JEC-電力線搬送用保安装置

(試験電圧標準特別委員会)

1. JEC-164 試験電圧標準(改訂案)

(絶縁試験法標準特別委員会)

1. JEC-部分放電測定一般

2. JEC-172 衝撃電圧電流測定法(改訂案)

3. JEC-176 静止誘導機器衝撃
電圧試験 (改訂案)

4. 直流高圧試験法調査

5. 降雨固有抵抗測定調査

6. 汎用形分圧器の開発

7. 波高電圧計調査

(送電用鉄塔標準特別委員会)

1. JEC-127 送電用鉄塔設計標準
(改訂案)

2. JEC-128 送電用鉄柱設計標準
(改訂案)

3. JEC-129 電力用無線通信鉄
塔・鉄柱設計標準 (改訂案)

(絶縁材料絶縁抵抗試験方法標準
特別委員会)

1. JEC-148 電気絶縁材料の絶
縁抵抗試験方法通則 (改訂案)

15. 調査研究委員会

1. 新設した委員会

(1) 場の理論教育調査専門委員
会 (48-5)

(2) 線形システム理論教育調査
専門委員会 (48-5)

(3) 応用電子化学常置専門委員
会 (48-5)

(4) 知能ロボット調査専門委員
会 (48-5)

(5) 巻鉄心調査専門委員会 (48
-9)

(6) 列車の自動運転調査専門委
員会 (48-9)

(7) き電回路の保護方式調査専
門委員会 (48-9)

(8) 電力応用研究専門委員会
(48-9)

(9) 超高性能磁石調査専門委員
会 (49-3)

(10) 高電圧試験常置専門委員会
直流汚損試験分科会 (49-3)

2. 解散した委員会

(1) 同期機の整流器励磁方式調
査専門委員会 (45-6~48-5)

(2) チョップ制御方式調査専門
委員会 (45-10~48-9)

(3) 電車線方式体系化調査専門

委員会 (46-10~48-9)

(4) 高電圧試験常置専門委員会
開閉サージ分科会 (36-10~49
-3)

(5) 同上 がいし汚損試験分科
会 (35-12~49-3)

(6) 継続教育調査専門委員会
(46-6~49-5)

(7) 機能回路調査専門委員会
(46-3~49-3)

(8) 制御用計算機ソフトウェア
用語調査専門委員会 (47-2~
49-3)

3. 調査を終了した項目

【教育研究】

(継続教育調査専門委員会)

1. 日本の企業における継続教育
の実態調査 (技報予定)

(学生実験調査専門委員会)

1. 電気系学部学生実験の現状な
らびに将来に対する意向に関
するアンケート調査一組織、
運営関係、実験内容一第1次
集計

(場の理論教育調査専門委員会)

1. 量子力学、量子電子工学、統
計力学に関するカリキュラム
内容の調査 (電学誌発表予定)

(線形システム理論教育調査専門
委員会)

1. 線形システム理論関連科目の
内容調査

(i) 基礎数学、(ii) 回路網
理論、(iii) システム理論 (委
員会資料)

2. 委員派遣大学についてのシス
テム工学に関連する設置学科
目の調査 (委員会資料)

【電気物理】

(放電常置専門委員会)

1. 放電基礎過程 (放電研究会、
昭 48-6)

2. 放電関係国際会議資料情報
(頒布資料)

3. SF₆ の放電特性 (CIGRE/SC
資料)

(クライオエレクトロニクス調査
専門委員会)

1. 下記内容の general survey
(委員会資料)

(超電導の物理; ジョセフソ
ン素子のモデル; ジョセフソ
ン効果のシミュレーション;
SQUID; ジョセフソン接合
を用いたヘテロダイナミック
シング; ポイントコンタクト;
SLUG 素子; 電気標準とク
ライオエレクトロニクス; 計
測技術とクライオエレクトロ
ニクス; 薄膜技術; 電子機器
用小形冷凍機; 欧米のクライ
オエレクトロニクスの現状)

(委員会資料)

【電気測定】

(トレーサビリティ常置専門委員
会)

1. 電気に関するトレーサビリテ
ィの向上 (委員会資料)

【電気材料】

(金属材料常置専門委員会)

1. 電気機器用軽合金に関する調
査 (金属材料研究会, 昭 48-
10)

(磁性材料常置専門委員会)

1. けい素鋼板の磁性の応力特性
(技報予定)

(絶縁材料耐熱性試験法常置専門
委員会)

1. 短時間耐熱性試験予備試験

(1) 標準試料 NBS-ICTA
No. 758を使用した装置の
検定 (委員会資料)

(2) ホルマール線とフェノー
ルアルキド樹脂ワニス熱
分析 (委員会資料)

(絶縁材料コロナ劣化常置専門委
員会)

1. 絶縁材料の部分放電(コロナ)
による劣化(Ⅲ) —— 内部放
電劣化についての予備的検討
(技報 I 部 106 号)

(絶縁材料耐電界性常置専門委員

会)

1. 水トリーに関する調査研究 (技報予定)
(絶縁材料耐アーク性試験法分科会)

1. JEC-149 の見直しと ASTM D-71T の試験方法の検討 (委員会資料)
2. 国産試験機による測定値の機差の調査 (委員会資料)
3. アークエネルギーの測定方法と ASTM アークエネルギー表示値の検討 (委員会資料)

【電子回路】

(標準電子回路常置専門委員会)

1. FET チョッパ増幅器 (技報予定)
2. 開閉制御安定化電源 (技報予定)

(集積回路常置専門委員会)

1. 自動車用 IC について (技報予定)
2. 47 年度以降 IC 動向の調査 (年報)

(機能回路調査専門委員会)

1. 機能回路の現状と将来 (技報予定)

(標準周波数発生回路調査専門委員会)

1. 小形水晶時計およびそのための水晶振動子 (委員会資料)
2. VHF, UHF 帯水晶発振器の特性 (委員会資料)
3. 商用セシウムビーム標準器の安定度 (委員会資料)
4. 水素メーザ安定度改善法 (委員会資料)
5. 国際通信に必要な周波数発生 (委員会資料)
6. 水晶発振器用恒温槽 (委員会資料)

【電子装置】

(電子管常置専門委員会)

1. マイクロ波電力伝送 (委員会資料)
2. X線用ビジコン (委員会資料)

3. マイクロ波管の現状と問題点 (委員会資料)

4. マイクロ波加熱用電子管 (委員会資料)

5. ミリ波・サブミリ波電子管 (委員会資料)

6. 受信管・送信管 (年報)

(電子管材料常置専門委員会)

1. 電子管材料の動向 (年報)

(オプトエレクトロニクス常置専門委員会)

1. ファクシミリおよびハードコピーの新技术関係 (委員会資料)

2. オプトエレクトロニクスデバイスの新動向 (光 IC, 光ファイバ, ホログラフィ, ディスプレイ等) (委員会資料)

3. オプトエレクトロニクス材料の新技术 (イオン注入, ガラス, 赤外半導体, 電気光学材料) (委員会資料)

(高出力レーザ装置調査専門委員会)

1. 電子ビーム制御炭酸ガスレーザと高出力分子レーザ (電子装置研究会, 昭 48-7)

2. 赤外検知器 (レーザ研究, 1 巻, 1~3 号)

3. レーザレーダ (レーザ研究, 1 巻, 1~3 号)

4. レーザ障害と損傷 (電子装置研究会, 昭 49-2)

(メモリ調査専門委員会)

1. 高速補助メモリ (技報予定)

2. 大容量ファイルメモリ (技報予定)

3. 光メモリ (技報予定)

4. リード・オンリ・メモリ (技報予定)

5. 記憶階層システム (技報予定)

【電気機器】

(誘導機常置専門委員会)

1. 誘導機試験法の再検討 (技報予定)

(直流機常置専門委員会)

1. 直流機試験法第 1 次審議

(避雷器常置専門委員会)

1. 配電用避雷器性能の経年変化に関する実験結果の検討 (委員会資料)

2. 500 kV 避雷器放電特性の統計的検討 (委員会資料)

(ヒューズ常置専門委員会)

1. 進み小電流しゃ断 (委員会資料)

2. 限流ヒューズの時間-電流特性 (委員会資料)

3. HRC ヒューズおよび半導体保護用ヒューズに関する諸外国の現状 (委員会資料)

4. 電力ヒューズの設計と適用 (電力用コンデンサ常置専門委員会)

1. JIS C 4801 (高圧および特別高圧進相コンデンサ用直列リアクトル) 改訂案

2. JIS C 4802 (高圧および特別高圧進相コンデンサ用放電コイル) 改訂案

3. JIS C 4902 (高圧および特別高圧進相コンデンサ) 解説付録案

(超電導機器常置専門委員会)

1. 各種超電導マグネットの基礎調査 (委員会資料)

2. 超電導回転機の特性調査と用途 (委員会資料)

3. 超電導ケーブルの基礎調査 (委員会資料)

【電気鉄道】

(チョッパ制御方式調査専門委員会)

1. チョッパ関係用語 (チョッパ制御ハンドブック原稿の一部)

2. 回生ブレーキ域の拡大策 (チョッパ制御ハンドブック原稿の一部)

3. チョッパ式電気自動車の現状調査 (チョッパ制御ハンドブック原稿の一部)

(電車線方式体系化調査専門委員会)

1. 電車線の性能に関する研究 (技報予定)
2. 電車線の具備すべき条件 (技報予定)
3. 電車線方式の現状 (技報予定)
4. 電車線方式の分類と適用範囲 (技報予定)

(列車の自動運転調査専門委員会)

1. 海外の自動運転の現状 (委員会資料)
2. 自動運転の目的, 問題点 (委員会資料)
3. 鉄道線区分類と運転状況 (委員会資料)

【電気化学電熱】

(応用電子化学常置専門委員会)

1. フォトファブリケーション (委員会資料)
2. めっきによる HIC (委員会資料)

【電力応用】

(公害対策電気技術常置専門委員会)

1. NO_x の測定 (委員会資料)
2. 建屋集じん

【原子力】

(核融合発電常置専門委員会)

1. 48年度開催の核融合関係国際会議の調査 (委員会資料)
2. 各国の核融合開発体制 (委員会資料)
3. 核融合関連技術の調査 (委員会資料)
4. 核融合資源問題 (委員会資料)

【電力】

(発電常置専門委員会)

1. 水車発電機のスラスト軸受実態調査 (技報 I 部 106 号)

(配電常置専門委員会)

1. 系統運用・信頼度からみた配電設備の最適手法に関する研究 (技報予定)

(変電常置専門委員会)

1. 500 kV 設備の安全距離 (委員

会資料)

2. 500 kV 変電所の防災対策 (委員会資料)
3. 変電所の環境調和 (委員会資料)

(通信常置専門委員会)

1. 電力用デジタル情報伝送・処理方式の検討 (技報予定)

(直流送電常置専門委員会)

1. 直流送電関係参考文献リストの作成 (委員会資料)

(工場配電常置専門委員会)

1. 工場配電における供給信頼度についての文献調査 (技報予定)

(高電圧試験常置専門委員会)

1. 球ギャップ, 棒ギャップの直流フラッシュオーバー電圧の比較試験 (技報 I 部 108 号)
2. 変電所の絶縁協調に関する統計的手法 (技報予定)
3. 直流高電圧絶縁に関する調査報告 (技報 I 部 108 号)

(がいし汚損試験分科会)

1. わが国の汚損試験法の集約 (CIGRE/SC 33 に提出)

(開閉サージ分科会)

1. UHV 系統の絶縁協調に関する調査 (技報予定)

(電力システム懇談会)

1. 鉄鋼業, 化学工業におけるエネルギーの有効利用 (委員会資料)
2. 住宅における省エネルギー (委員会資料)
3. 熱併給システムについて (委員会資料)
4. 複合サイクルプラントについて (委員会資料)
5. 都市ガス供給システムについて (委員会資料)

【オートメーション】

(制御用計算機ソフトウェア用語調査専門委員会)

1. 制御用計算機ソフトウェア用語定義作成 (技報予定)

(知能ロボット調査専門委員会)

1. 知能ロボット関連研究機関における研究状況 (国内) (委員会資料)

4. 調査中の項目

【教育研究】

(学生実験調査専門委員会)

1. 電気系学部学生実験の現状ならびに将来に対する意向に関するアンケート調査 (第2次集計)

(場の理論教育調査専門委員会)

1. 電気磁気学関係カリキュラムの改善

(線形システム理論教育調査専門委員会)

1. 線形システム理論関連科目の細項目の調査

【電気物理】

(放電常置専門委員会)

1. 超々高電圧気中放電
2. 極低温絶縁破壊 (クライオエレクトロニクス調査専門委員会)

1. 下記の内容に関する細目調査
超電導の物理, ジョセフソン素子のモデル, ジョセフソン効果のシミュレーション, SQUID, ジョセフソン結合を用いたヘテロダインミクスシング, ポイントコンタクト, SLUG素子, 電気標準とクライオエレクトロニクス, 計測技術とクライオエレクトロニクス, 薄膜技術, 電子機器用小形冷凍機, 欧米のクライオエレクトロニクスの現状

【電気測定】

(トレーサビリティ常置専門委員会)

1. 各国における標準のトレーサビリティ
2. 国内各機種別の校正法, 精度などについての検討
3. 企業別のトレーサビリティ
4. 日本のトレーサビリティ強化

の長期展望

(公害電気計測調査専門委員会)

1. 公害電気計測の現状 (技報)

【電気材料】

(金属材料常置専門委員会)

1. 電気機器用特殊金属材料
2. 電気機器用すず, 鉛, 亜鉛

(磁性材料常置専門委員会)

1. けい素鋼板磁気試験法
2. けい素鋼板の磁気特性とその応用

(電子材料常置専門委員会)

1. 半導体電子材料
2. 誘電体電子材料
3. 磁性体電子材料
4. 金属電子材料
5. 複合電子材料

(絶縁材料耐熱性試験法常置専門委員会)

1. 短時間耐熱性試験予備試験結果の解析
 - i) キュリーポイントを標準とした装置の検定
 - ii) 試験結果の解析
2. 短時間耐熱性試験本試験計画の作成

(絶縁材料コロナ劣化常置専門委員会)

1. 絶縁材料の部分放電による劣化 (IV)

——内部放電による寿命試験

(絶縁材料耐電界性常置専門委員会)

1. トリー発生機構
2. 絶縁材料長時間破壊試験方法 (絶縁材料耐アーク性試験法分科会)

1. ASTM における新規試験条件としてのステンレス鋼はく電極による協同実験とその結果の検討

2. 電極配列による同上

3. JEC-149改訂のための資料案および技術報告の作成

(泡磁区材料調査専門委員会)

1. 泡磁区技術に関する技術報告

作成

(巻鉄心調査専門委員会)

1. 巻鉄心の構成と特性
2. 磁気特性と電気機器特性
3. 試験方法およびその他

【電子回路】

(電子回路部品常置専門委員会)

1. 部品高信頼化の動向

(標準電子回路常置専門委員会)

1. 光結合回路, アナログ記憶, アナログスイッチ, 大出力発生回路, 能動フィルタ, 対数増幅回路

(エレクトロメカニカル機能部品常置専門委員会)

1. 高結合圧電材料とその応用 (標準周波数発生回路調査専門委員会)

1. 周波数発生回路における雑音測定と低雑音化
2. 安定化レーザ
3. 周波数安定度の表現, 測定

【電子装置】

(電子管常置専門委員会)

1. ディスプレー用電子管

(電子管材料常置専門委員会)

1. 金属材料, 電子放出陰極, 二次電子放出, 光電子放出, 光導電体, けい光体, ガラス・セラミック, その他

(トランジスタ常置専門委員会)

1. トランジスタ等の固体素子を中心とした材料の研究開発の推進および調査
2. 固体素子を中心とした装置の研究開発の推進および調査
3. 固体素子を中心としたシステムの研究開発の推進および調査

(オプトエレクトロニクス常置専門委員会)

1. オプトエレクトロニクス材料の研究開発動向調査
2. オプトエレクトロニクスデバイスの研究開発動向調査
3. オプトエレクトロニクス装置

の研究開発動向調査

(高電力半導体素子常置専門委員会)

1. パワートランジスタの ASO 測定法
2. 半導体素子の熱抵抗測定法
3. サイリスタのスイッチング損失
4. 高耐圧サイリスタの動向
5. パワートランジスタの動向 (高出力レーザ装置調査専門委員会)

1. レーザ加工

2. 化学レーザ

3. レーザ用光学材料

(メモリ調査専門委員会)

1. 特殊メモリ
2. 信頼性および冗長技術

【電気機器】

(同期機常置専門委員会)

1. 同期機技術ハンドブックの作成

(誘導機常置専門委員会)

1. 誘導機負荷時騒音調査
2. JEC-146改訂に伴う誘導機関係の審議
3. 始動電流算定法

(直流機常置専門委員会)

1. 直流機試験法

(変圧器常置専門委員会)

1. 試験用変圧器の使用上の問題と対策
2. 変圧器の短絡試験
3. 油入変圧器用ブッシングの定格電流選定指針
4. 乾式変圧器の運転指針

(避雷器常置専門委員会)

1. 汚損避雷器試験法と性能向上対策の検討
2. 直流送電用および次期超々高圧送電用避雷器責務の検討
3. 限流形避雷器の保護特性の検討

(整流器常置専門委員会)

1. サイリスタ交流電圧調整器ならびにサイリスタスイッチ

2. 電力用半導体部品ならびに装置の信頼性

3. サイリスタ電力変換装置の高調波障害

4. 半導体整流素子ならびに静止電力変換装置に関する用語

(しゃ断器常置専門委員会)

1. アナライザ回路の調査解析

2. 測定法——高周波電圧測定用分圧器と残留電流測定用分流器の調査解析

3. 4パラメータ試験法

(ヒューズ常置専門委員会)

1. 極低温における直流しゃ断ヒューズ

2. 高気圧・大電流アークと高温気体特性

3. しゃ断試験の力率

(電力用コンデンサ常置専門委員会)

1. わが国における電力用コンデンサの設置状況ならびに稼動状況

(制御機器常置専門委員会)

1. 制御機器の故障実態調査

2. 汎用シーケンスコントローラの実状調査

3. 制御機器の複合機能評価

4. 制御機器の外来雑音と誤動作防止

(超電導機器常置専門委員会)

1. 同期機の超電導化

2. 核融合用超電導コイル

3. 超電導コイルの励磁方式

(磁気応用常置専門委員会)

1. 磁気応用の基礎に関する研究

2. 情報処理要素としての問題点

3. 信号変換用機器としての問題点

4. 電力機器に関する応用

5. 磁気応用の新しい分野および試験法

【電気鉄道】

(列車の自動運転調査専門委員会)

1. 海外の自動運転の現状

2. 自動運転とサービス

3. 自動運転とマンマシンシステム

4. 自動運転のメリット、デメリット

5. 自動運転と運転管理トータルシステム

(き電回路の保護方式調査専門委員会)

1. 国鉄・民鉄の直流き電回路保護方式の実態調査

2. 直流き電回路保護方式の技術的基準作成のための基礎資料調査

3. 直流き電回路保護方式の技術的基準の作成

4. 交流き電回路保護方式の実態調査

5. 交流き電回路保護方式の技術的基準の作成

【電気化学電熱】

(燃料電池調査専門委員会)

1. リン酸電解質燃料電池

2. 固体電解質燃料電池

3. アルカリ水溶液電解質燃料電池

4. 熔融塩電解質燃料電池

5. および上に付随する問題

(応用電子化学常置専門委員会)

1. 半導体の表面処理

【電力応用】

(製鉄工業常置専門委員会)

1. リミットスイッチの環境基準ならびに信頼性・性能の調査

2. 電動機の保護監視システム

(公害対策電気技術常置専門委員会)

1. 電気集じん装置

2. 公害計測

3. 放電現象

(建築電気設備調査専門委員会)

1. 受変電設備の信頼度

2. 非常用発電機、原動機

3. 屋内配電設備の大電流化

4. 電子計算機用電源

5. 電燈照明負荷の電力密度

6. 空調設備などによる動力設備

の電力密度

7. ビル用中央監視制御方式へのコンピュータの応用

【原子力】

(原子力計測常置専門委員会)

1. 環境放射線モニタリング技術

2. 低レベル放射能測定技術

3. 高分解能スペクトル測定技術

4. 熱けい光素子(TLD)を用いた中性子測定技術

5. 放射線イメージ計測技術

(原子力発電所制御常置専門委員会)

1. 運転実績、問題点などに関する情報

2. 電力系統との関連

3. 負荷追従、AFCの可能性

4. プラントのダイナミクスと制御

5. 貫流式蒸気発生器の動特性

6. 安全保護系統

7. 燃料棒の安全性と運転上の制約

8. 燃料管理

9. 雑音解析

10. 制御理論の紹介とその動向

11. 核融合炉

(MHD 発電常置専門委員会)

1. 国内 MHD 発電の現状

2. 国外オープンサイクル MHD 発電の現状

(核融合発電常置専門委員会)

1. 核融合発電プラントの構成

2. 核融合の経済性

3. 核融合炉の概念(各種炉形の比較)

4. 核融合のエネルギー問題における位置づけ

5. 核融合発電の技術的問題

【電力】

(発電常置専門委員会)

1. 水力発電所の運転障害とその対策

(1) 原因別発生件数

(2) 制御方式別件数

(3) 故障箇所別件数

(4) 調速機, 水位調整装置,
自動制御装置の障害の実態
(送電常置専門委員会)

1. 架空送電線のギャロッピング
(配電常置専門委員会)

1. 配電線における波形ひずみに
関する文献調査
(変電常置専門委員会)

1. 500kV 変電所の運転・保守
2. 超小形変電所

(給電常置専門委員会)

1. 電力系統における階層制御シ
ステム

2. 電力系統の周波数制御

(通信常置専門委員会)

1. 電力用情報通信システムの信
頼性

2. 電力線搬送電話装置, 静止形
無停電電源装置, 通信ケーブ
ルの標準化のための資料

(直流送電常置専門委員会)

1. サイリスタパルプ試験法
2. 直流送電系統の解析手法

(工場配電常置専門委員会)

1. 当会発行「工場配電」の見直
し

2. 技術基準 41 条に対する解釈・
見解のまとめ

3. 欧米における最近の工場配電
の諸問題

(高電圧試験常置専門委員会)

1. ガス絶縁機器の試験法の問題
点

2. 雷近接時のシミュレーション

3. 油浸紙その他の絶縁物の直流
絶縁特性

4. 塩霧法による汚損試験法

(電力システム懇談会)

1. 各種発電方式の技術的・経済
的特性

2. 各種電気エネルギー輸送方式
の技術的・経済的特性

3. 熱併給システムの技術的・経
済的特性

4. エネルギーシステムの一部
分としての電力システムの検討

5. 革新的未来技術の電力システ
ムへの導入

【オートメーション】

(シーケンス制御の工学体系化調
査専門委員会)

1. シーケンス制御系の設計方法
の体系化

2. シーケンス制御方式

3. シーケンス制御の教育方法の
体系化

4. シーケンス制御用語・記号
(知能ロボット調査専門委員会)

1. 知能ロボット関連研究機関
(海外)における研究状況

2. 知能ロボットの各項目(目,
手, 頭)についての研究状況

5. 研究会

(昭和 48 年 4 月 1 日～昭和 49 年 3 月 31 日)

研究会名	開催 回数	発表 論文数	資料 数
教育研究技術	1	1	91
回路とシステム理論*	9	94	—
電気音響*	9	48	—
放電	8	37	277
電磁界理論	8	52	102
プラズマ	5	21	130
電気測定	6	45	132
電子回路	4	20	131
電子装置	14	129	142
回転機器	4	18	192
静止機器	2	12	165
開閉保護装置	1	4	149
制御変換装置	2	11	221
磁気応用	3	20	137
電力技術	6	25	248
光源・関連装置	3	11	106
視覚情報	3	13	116
電気鉄道	1	4	74
絶縁材料	7	53	356
金属材料	4	23	148
磁性材料	5	29	169
電子材料	2	6	65
電線	—	—	157
電気化学・電熱	1	3	116
電力応用	2	5	156
製鉄工業	—	—	72
自動制御	3	15	213
原動力	—	—	97
情報処理	9	27	195
計	122	726	4,157
前年度	125	588	4,051

(注) * 電子通信学会と共催

16. 国際会議

IEC

第 38 回大会は, 1973 年 6 月 18
日より 30 日までドイツのミュン
ヘン市で開催された。TC の数は
12 会, SC の数は 20 会で, 総
会, 理事会も同時に開催された。
当会の分担する委員会としては,
TC 4 水車, SC 17 C 高圧密閉開
閉装置, TC 22 パワエレクトロニ
クス, SC 22 B 半導体変換器が開
催され, 今井孝二(東芝, TC 22,
SC 22 B), 関野吉宏(電々公社,
TC 22, SC 22 B), 安藤錠治(三
菱重工, TC 4), 和泉孝喜(関西
電力, TC 4)の諸君が代表として
出席された。

また, 大会時以外に開催された
TC および SC に, 下記の諸君が
出席された。

(1) 5 月 29 日～30 日, Braun-
schweig で開催された TC 38-
WG 5 (計器用変成器)に池田三
穂司君(大崎電気)。

(2) 9 月 3 日～15 日, Greno-
ble で開催された SC 17 A (高圧
開閉制御装置)と Bucharest で開
催された TC 32 (ヒューズ)およ
び SC 32 A (高圧ヒューズ)に中
西邦雄君(横浜国大)。

(3) 9 月 24 日～29 日, Co-
penhagen で開催された TC 13
(電気計測器), SC 13 A (積算計
器), SC 13 B (記録計器)に吉原
昭也君(日電検)。

(4) 9 月 24 日～28 日, Anka-
ra で開催された TC 36 (がいし),
SC 36 A (高圧がいし), SC 36 B
(低圧がいし)に鬼頭国二君(日本
碍子)。

(5) 10 月 22 日～11 月 2 日,
Hague で開催された TC 66 (電
子測定装置), SC 66 A (ゼネレー
タ), SC 66 B (オシロスコープ)
に大森俊一君(東京理科大), 横山

義一君(横河ヒューレット), 原田誠一君(横河電機)。

(6) 11月21日~23日, Milano で開催された SC 28 A (低圧絶縁協調)に樋村教章君(用品試)。

(7) 3月25日~30日, Oslo で開催された SC 22 F (高圧直流送電用コンバータ)に尾形文夫君(日立)。

CIGRE

第25回大会は, 1974年8月21日より29日までパリ市で開催されるが, 本年度は, この大会に提出するわが国よりの論文を選考し, 下記7編の論文を選考した。

1. (Group 13)

New Three-Circuit Arrangement for Synthetic Testing of High Voltage Circuit Breakers under Four-Parameter Transient Recovery Voltage.

By Junji Tomiyama, Kiichi Saijo, Hiroshi Nakamura, Tadashi Morita

2. (Group 14)

Development and Field Tests of 125 kV Oil-Immersed Thyristor Valve for HVDC.

By Kakuta Yoshida, Sumio Kobayashi, Naoe Kawakami, Fumikazu Nishimura

3. (Group 21)

Research and Development of HVDC Cables in Japan.

By Kakuta Yoshida, Yukichi Sakamoto, Toshio Tabata, Fumiya Numajiri, Mitsuo Tsumoto, Keiji Kojima

4. (Group 22)

An Experimental Study of Bundle Conductor Galloping on the Kasatori-Yama Test Line for Bulk Power Transmission.

By Koichiro Anjo, Shojiro Yamasaki, Yoshikazu Matsubayashi, Yoshiaki Nakayama, Akira Otsuki, Tetsuo Fujimura

5. (Group 23)

The Design of 500 kV Suspension Type Capacitor Voltage Transformer applied in the Area of Heavy Salt Contamination and Earthquake.

By Masayuki Yasuda, Jun Fujimoto, Seishiro Noda, Shigeo Higaki

6. (Group 33)

Performance of Contaminated Insulators Energized by DC Voltage.

By Yoshitada Nakajima, Taisuke Seta, Kazuyoshi Nagai, Hiroshi Horie, Katsuhiko Naito

7. (Group 33)

Statistical Approach to the Insulation Coordination of Substations against Lightning Overvoltage.

By Tatsuo Kawamura, Teruya Kouno, Soji Kojima, Fumiya Numajiri, Hiroshi Mitani, Kazuhiko Harasawa, Hiroshi Ishihara

SC および WG	名 称	開催期日 開催場所	出席者 (○は Regular member)
SC 11	Rotating machines	5月14~17日 ウィーン (オーストリア)	
SC 12	Transformers	9月2~7日 Sandefjord (ノルウェー)	○古新居 憲 (東芝) 栗田健太郎 (日立)
SC 13	Switching equipment	9月10~11日 インタラケン (スイス)	○宮地 巖 (名古屋大)
WG13-06	Reliability of circuit-breakers	9月25~26日 ヘルシンキ (フィンランド)	安田 正行 (東京電力)
SC 14	AC/DC Converting Plant	4月2~6日 東京 (日本)	○山田 直平 (東京理大) 竹之内達也 (電源開発) 正田 英介 (東京大学) 黒川 浩助 (電 総 研) 桜井 武一 (東京電力) 関根 泰次 (東京大学) 関根 聖治 (電 総 研) 吉田 幸雄 (電力中研)
SC 15	Insulating materials	9月11~13日 ロンドン (イギリス)	○中牟田昌治 (日 立)
SC 21	H. V. Insulated cables	9月20~22日 リーゲ (ベルギー)	○小島 啓示 (住 友)
SC 22	Overhead lines	6月4~6日 ストットガルト (ドイツ)	中山 良顕 (古 河) 酒井 長武 (旭 電 機) 神田 典明 (") 石川 敏夫 (大日本)
SC 23	Substations	9月2~7日 チューリッヒ (スイス)	○経川 達雄 (中部電力) 武藤 三郎 (名 工 大) 長谷 良秀 (東 芝)
SC 31	Transmission systems	3月18~28日 メルボルン (オーストラリア)	○田村康男 (早稲田大学) 青井 舒一 (東 芝)
SC 32 (合同)	System planning and operation		
SC 33	Overvoltages and insulation co-ordination	9月17~22日 クラコウ (ポーランド)	赤崎 正則 (九州大学)
WG33-01	Lightning	9月5~8日 ハノーバ (ドイツ)	福森 誠一 (四国電力)
WG33-03	High voltage testing technique	9月10~14日 ベルリン (ドイツ)	岸 敬二 (東 芝)
SC 34	Protection, automation and remote control equipments	5月29日~ 6月5日 プラハ (チェコ)	
SC 35	Communication	5月21~26日 ダブリン (アイルランド)	○大石 宏 (東京電力)
SC 36	Interference	5月2~4日 ロンドン (イギリス)	木原登喜夫 (住 友)

また 1973 年中に開催された

Study Committee と日本よりの

出席者は、前表のとおりである。

UIE

第 8 回大会は、1976 年 10 月 11 日より 16 日まで Liege (ベルギー) で開催されるが、本年度は、この大会に発表を希望するわが国よりの論文 10 編を選定し、Paper Selecting Committee に提出した。

また、6 月 14、15 日に Stockholm で開催された Directing Committee および General Assembly には山田直平会長が出席した。席上日本より Auditor を選出することとなり、岡崎時春氏(東芝)が就任した。

17. 電気学会通信教育会

1. 受講生の概況

当年度内新入受講生は、大学講座 1,135 名、工高講座 682 名、また、修了者は、大学講座 711 名、工高講座 634 名であって、期末現在数は、大学講座 6,065 名、

講 座 別		新入 生数	修了 生数	期 末 現在数
基 礎 課 程	電 気 理 論	465	339	1,968
	電 気 計 測	113	39	658
	電 気 機 器	102	83	643
	発 送 配 電	85	66	559
	電 気 応 用	26	14	186
	電 気 法 規	37	21	243
	電 気 応 用	23	3	98
	電 子 工 学	75	53	327
	(大)電 気 数 学	—	6	0
	(大学講座小計)	1,135	711	6,065
専 門 課 程	電 気 理 論・電 気 計 測	289	225	1,013
	電 気 機 器	83	104	865
	電 気 理 論	122	34	360
	電 気 計 測	15	5	131
	電 気 機 器	16	2	97
	発 電 工 学	17	18	406
	電 気 材 料	17	13	171
	高 電 圧	8	7	51
	電 気 鉄 道	14	8	167
	発送配電・電気法規	75	101	686
工 高 講 座	電気応用・電気材料	57	61	563
	自動制御・電子工学	100	70	562
	電 気 数 学	78	73	719
	(工高講座小計)	682	634	4,408
合 計		1,817	1,345	10,473

工高講座 4,408 名で、総数 10,473 名である。講座別内訳は前のとおり。

2. 教材の出版

当年度内に発行された教材は、初版の教科書 10 点 17,500 冊、学習指導書 4 点 3,500 冊、また、重版では教科書 78 版 197,850 冊、内訳は次のとおり。

初版教科書

- (1) 誘電体現象論
- (2) 電気法規・技術基準解説
- (3) 情報処理工学
- (4) 超電導工学
- (5) 電気機器設計
- (6) 電気理論 I (学習の手引付)
- (7) 電気理論 II (学習の手引付)
- (8) 自動制御概説
- (9) 電気工学 II (上)
- (10) 電気工学 II (下)

学習指導書

- (1) 物性論
- (2) 送電工学 III
- (3) システム制御
- (4) 電気工学 I (下)

重版教科書

- (1) 電気磁気学 (19~21 版)
- (2) 電気回路論 (改訂版) (8~10 版)
- (3) 測定値統計処理 (3 版)
- (4) 基礎電子工学 (38 版)
- (5) 電離気体論 (3 版)
- (6) 電気応用計測 (27 版)
- (7) 電気計測器 (7 版)
- (8) 電機設計概論 (8 版)
- (9) 電気機器工学 I (14・15 版)
- (10) 同 II (11 版)
- (11) 直流機 (4 版)
- (12) 火力発電 (7 版)
- (13) 送電工学 (13・14 版)
- (14) 配電・屋内配線 (5 版)
- (15) 改訂・電気材料 (35・36 版)
- (16) 高電圧工学 (改訂版) (4 版)

- (17) 電気鉄道 (26 版)
- (18) 改訂・電熱工学 (3 版)
- (19) 照明工学 (21 版)
- (20) 電気化学 (10 版)
- (21) 電気測定法 (3 版)
- (22) 電子管 (10 版)
- (23) 静止電力変換装置 (2 版)
- (24) 自動制御理論 (3 版)
- (25) 基礎電磁気学 (10~12 版)
- (26) 交流理論 (14・15 版)
- (27) 回路網理論 (6 版)
- (28) 電磁気計測 (18・19 版)
- (29) 水力発電 (5 版)
- (30) 電気機械工学 (8 版)
- (31) 発変電工学 (改訂版) (4・5 版)
- (32) 電気応用 (3 版)
- (33) 電子回路 (5 版)
- (34) 制御工学 (8 版)
- (35) 原子力発電 (2 版)
- (36) 電子計算機の原理と構造 (4 版)
- (37) 電子計算機のプログラミング (2 版)
- (38) 電気実験 (基礎計測編) (6 版)
- (39) 同 (電子編) (5 版)
- (40) 電気材料便覧 (6 版)
- (41) 電子応用 (3 版)
- (42) トランジスタ (34 版)
- (43) 電子計算機概説 (2 版)
- (44) 電気工学 I (上) (49 年度版)
- (45) 同 I (下) (")
- (46) 電気工学 II (上) (")
- (47) 同 II (下) (")
- (48) 電子工学 I (上) (")
- (49) 電子工学 I (下) (49 年度版)
- (50) 電子工学 II (上) (")
- (51) 同 II (下) (")
- (52) 電子計算機一般 (")
- (53) 電気計測 (")
- (54) 電気機器 I (")
- (55) " II (")

- (56) 発送配電Ⅰ (")
- (57) 同 Ⅱ (")
- (58) 電気応用 (49 年度版)
- (59) 電気材料 (")
- (60) 電子工学 (")
- (61) 電気法規 (")
- (62) 電気一般 (")
- (63) 自動制御 (")
- (64) 電気理論Ⅰ (")
- (65) 電子機器 (")
- (66) 電気理論Ⅱ (")

3. 検定教科書

昭和 49 年度工業高等学校教科書の総供給数は 72,000 冊で、内訳は次のとおり。

電気工学Ⅰ (上)	5,500 冊
電気工学Ⅰ (下)	5,200 冊
電子工学Ⅰ (上)	1,500 冊
電子工学Ⅰ (下)	1,300 冊
電気工学Ⅱ (上)	3,900 冊
電気工学Ⅱ (下)	2,800 冊
電子工学Ⅱ (上)	1,900 冊
電子工学Ⅱ (下)	1,800 冊
電気理論Ⅰ	800 冊
電気理論Ⅱ	500 冊
電気計測	1,300 冊
電気機器Ⅰ	2,500 冊
電気機器Ⅱ	5,600 冊
発送配電Ⅰ	2,700 冊
発送配電Ⅱ	6,500 冊
電気応用	6,400 冊
電子工学	1,000 冊
電気材料	1,600 冊
自動制御	11,100 冊
電子機器	1,000 冊
電子回路	300 冊
電気一般	1,500 冊
電気法規	4,300 冊
電子計算機一般	1,000 冊

計 72,000 冊

4. 通信教育行事

- (1) 昭和 48 年 4 月 29 日
文部省主催春季全国大会および文部大臣表彰式は交通ストで中止。受賞者 13 名 (大学講座 7

名, 工高講座 6 名) には, 賞状と副賞を発送。

- (2) 昭和 48 年 10 月 14 日
神戸市立布引中学校において社会通信教育秋季全国大会およびスクーリングを開催。

18. その他

本期間に下記の如き推薦および派遣等を行なった。

- (1) 東洋レーヨン 科学技術賞・科学技術研究助成候補者の推薦
- (2) 日本学術会議臨時中央選挙管理委員候補者 2 名の推薦
- (3) I. E. E. 副会長 F. E. Jones 懇談会
- (4) 韓国電気学会総会および大会に宮地副会長派遣
- (5) 日本学士院会員候補者の推薦

また, 他の関係学術団体と協力, 共催または協賛した主なものは, 次の通りである。

- (1) 第 11 回理工学における同位元素研究発表会
- (2) I. E. E. 会長 Sir Eric Eastwood レセプション
- (3) 第 4 回安全工学国内シンポジウム
- (4) 第 3 回バイオメカニズム・シンポジウム
- (5) 第 17 回材料研究連合講演会
- (6) 第 5 回応用磁気学術講演会
- (7) ネットワーク・システム・セミナー
- (8) 第 16 回自動制御連合講演会
- (9) 静電気による着火爆発災害に関する講演会
- (10) 文部省科学研究費補助金の審査委員候補者の推薦
- (11) 生体工学の最近の動向と

生体工学基礎研究所(案)についてのシンポジウム

- (12) 第 12 回原子力総合シンポジウム
- (13) 第 17 回自動制御講習会—シーケンス制御システムの理論と応用
- (14) ノーベル賞受賞記念講演会

19. 役員改選報告

会長—鳳 誠三郎, 副会長—高木 正, 吉田弘一, 総務理事—青井舒一, 会計理事—北村泰男, 編修理事—安藤安二, 関根泰次, 調査理事—黒川一夫, 監事—駒宮安男の諸君が昭和 49 年 5 月の通常総会で任期満了となるので, 改選の結果次の諸君が当選した。

会 長 吉山 博吉(日 立)
副 会 長 佐波 正一(東 芝)
同 飯田 正美(関西電力)
総務理事 藤井 義良(東 芝)
会計理事 細包 嘉信(日 立)
編修理事 馬場 準一(三菱電機)
同 深尾 毅(東 工 大)
調査理事 飯塚喜八郎(東 電)
監 事 武内 志郎(富士電機)
投票総数は 8,850 通で, 投票率は 52.1% であった。

支部役員改選結果

支部役員半数改選の結果, 次の諸君が当選した。(○印は本部評議員兼任者, ※印は支部長推薦支部評議員)

(1) 東京支部
支 部 長 堀 一郎(東 電)
庶務幹事 堀米 孝(電 総 研)
会計幹事 武居 文雄(東 芝)
評 議 員 今井 孝二(東 芝)
同 ○岡村 正巳(東 電)
同 茅 陽一(東 大)
同 ○木村 寛夫(東 電)
同 ○小宮 康雄(電力中研)
同 ○佐藤 弘之(電 総 研)
同 ○示村悦二郎(早 大)

同 高橋 正昭(富士電機)
同 立川 昭三(日立)
同 寺戸 浩二(国鉄)

(2) 関西支部

支部長 西村正太郎(阪大)
庶務幹事 村上 吉繁(阪大)
会計幹事 栗原 啓之(関西電力)
評議員 秋田鴻之助(関西大学)
同 久保 光男(関西電力)
同 小島 啓示(住友電工)
同 柴山 広(大阪工大)
同 逢郷 章郎(松下電器産業)
同 西川 樟一(京大)
同 細川 省一(大阪市大)
同 三浦 宏(三菱電機)

(3) 九州支部

支部長 入江富士男(九大)
庶務幹事 伊藤 輝生(九州工大)
会計幹事 荒巻 重明(九州電力)
評議員 上田 敏行(新日鉄)
同 ○相良 節夫(九大)
同 高原 洋介(三菱電機)
同 ○富安 隆一(長崎大)
同 横山 章(熊本大)

(4) 東北支部

支部長 八田 吉典(東北大)
庶務幹事 竹田 宏(東北大)
会計幹事 佐藤 儀一(東北電力)
評議員 遠藤 市弥(東北電力)

同 内藤 正義(福島工専)
同 本郷 忠敬(日大)
同 宮本 敏彦(東北学院大)
同 百足 恒彦(岩手大)

(5) 東海支部

支部長 佐藤 芳郎(中部電力)
庶務幹事 小崎 正光(名大)
会計幹事 佐治 学(名工大)
評議員 雨宮 好文(名大)
同 神崎 勇二(信州大)
同 高村 明(三菱電機)
同 錦織 英夫(東芝)
同 ○長谷部堅陸(静岡大)
同 ※高橋 宏(日本車輛)
同 ※竹松 英夫(愛知工大)

(6) 中国支部

支部長 上原 和国(中国電氣工事)
庶務幹事 三上 彦三(中国電力)
会計幹事 内山 潔(中国電氣工事)
評議員 川崎 一郎(中国電機製造)
同 ○楠田 哲三(広島大)
同 榊 茂忠(広島工大)
同 高須 登(鳥取大)
同 ○竹本 文明(中国電力)
同 ※江口 満(旭化成水島)

(7) 北海道支部

支部長 福岡 醇一(北大)

庶務幹事 田頭 博昭(北大)
会計幹事 武田 毅(北大)
評議員 内田 康道(札幌市)
同 大窪 協(室蘭工大)
同 大塚 敏(函館高専)
同 ○佐崎 幸雄(北海道電力)
同 鈴木 郁朗(新日鉄)

(8) 北陸支部

支部長 伊藤 清一(金沢大)
庶務幹事 石原 博(北陸電力)
会計幹事 鈴木 正国(金沢大)
評議員 大坪 昭(金沢工大)
同 関野 重光(関西電力)
同 中堀幸一郎(北陸電力)
同 藤田 宏(富山大)
同 宮沢永次郎(福井大)
同 ※○山本 外史(金沢大)

(9) 四国支部

支部長 平井 滋二(四国電力)
庶務幹事 井門 克正(四国電力)
会計幹事 赤松 則男(徳島大学)
評議員 ○大内 博(四国電力)
同 大森 言太(住友共同電力)
同 鎌田寛太郎(四国麥圧器)
同 黒河 進(愛媛大)
同 峰 正久(高知高専)

昭和48年度会計報告

(自昭和48年4月1日 至昭和49年3月31日)

(1) 公益会計、収益会計収支計算書

収入の部

(斜体数字は科目の内訳)

科	目	公益会計	収益会計	合計
会費	収入	57,250,105	58,316,632	115,566,737
正准員	会費	24,778,399	52,654,099	77,432,498
入会	会費	0	2,469,828	2,469,828
終身会費	収入	372,600	0	372,600
雑誌	会費	0	343,105	343,105
雑誌	持論	32,099,106	2,849,600	34,948,706
雑誌	文誌	0	36,681,724	36,681,724
雑誌	収入	0	9,218,500	9,218,500
雑誌	布告	0	27,463,224	27,463,224
雑誌	収入	0	38,176,220	38,176,220
雑誌	布告	0	38,149,820	38,149,820
雑誌	収入	0	26,400	26,400
雑誌	調査	10,302,802	0	10,302,802
雑誌	習合	1,550,078	0	1,550,078
雑誌	合計	69,102,985	133,174,576	202,277,561
雑誌	収入	620,921	1,515,403	2,136,324
雑誌	子収入	4,436,056	0	4,436,056
雑誌	補助	1,380,000	0	1,380,000
雑誌	書室	1,975,837	0	1,975,837
雑誌	金利	860,000	0	860,000
雑誌	信教	1,000,000	0	1,000,000
雑誌	圖書	1,292,679	0	1,292,679
雑誌	全大	1,001,194	0	1,001,194
雑誌	合計	81,669,672	134,689,979	216,359,651

支出の部

科	目	公益会計	収益会計	合計
事務	所費	3,450,511	6,698,050	10,148,561
事務	費	2,630,662	5,106,581	7,737,243
事務	費	25,907,675	36,512,363	62,420,038
事務	費	205,000	0	205,000
事務	費	8,500,000	0	8,500,000
事務	費	235,958	0	235,958
事務	費	1,662,320	0	1,662,320
事務	費	680,256	0	680,256
事務	費	4,685,559	0	4,685,559
事務	費	837,811	0	837,811
事務	費	1,500,000	0	1,500,000
事務	費	5,721,148	0	5,721,148
事務	費	10,094,271	0	10,094,271
事務	費	10,095,738	0	10,095,738
事務	費	280,000	0	280,000
事務	費	317,801	0	317,801
事務	費	0	60,651,595	60,651,595
事務	費	0	22,969,799	22,969,799
事務	合計	76,804,710	131,938,388	208,743,098
事務	収支差額	4,864,962	2,751,591	7,616,553

(注) 公益会計剰余金は(3)に移す。収益会計の収入および支出金額は(2)収益会計損益計算書に移す。

(2) 収益会計損益計算書

(自昭和48年4月1日 至昭和49年3月31日)

科 目	支 出 金 額	科 目	収 入 金 額
雑誌論文誌出版費	60,651,595	会 費 収 入	58,316,632
図 書 出 版 費	22,969,799	雑誌論文誌収入	36,681,724
期首商品棚卸高	8,824,518	頒 布 収 入	9,218,500
人 件 費	36,512,363	広 告 収 入	27,463,224
事務所費	6,698,050	図 書 収 入	38,176,220
事務費	5,106,581	頒 布 収 入	38,149,820
退職給与引当金繰入	2,000,000	広 告 収 入	26,400
貸倒引当金繰入	250,000	期末商品棚卸高	9,335,218
価格変動準備金繰入	280,000	雑 収 入	1,515,403
当期剰余金	1,282,291	貸倒引当金戻し入	200,000
		価格変動準備金戻し入	350,000
合 計	144,575,197	合 計	144,575,197

(3) 公益会計剰余金処分

当期剰余金	4,864,962円
剰余金処分	
職員退職積立金	4,000,000円
特別積立金	864,962円
合 計	4,864,962円

(4) 収益会計剰余金処分

前期繰越損失金	△ 7,951,843
特別積立金(取崩)	1,651,244
当期剰余金	1,282,291
合 計	△ 5,018,308
以上損失金額を次期に繰越す。	

(5) 別 途 調 査 費

種 別	繰 越 金	当 期 受 入	当 期 支 出	収 支 残 (次年度繰越)
電食防止研究(委)	170,017	980,000	781,826	368,191
誘導調査特別(委)	564,832	764,000	384,104	944,728
日本 CIGRE 国内(委)	4,197,880	4,931,400	6,746,951	2,382,329
電気加熱技術協会	477,547	2,590,850	2,170,952	897,445
調査特別(委)	0	3,379,801	2,343,826	1,035,975
合 計	5,410,276	12,646,051	12,427,659	5,628,668

(6) 資 金 利 子

種 別	繰 越 金	当 期 利 子	当 期 支 出	収 支 残 (次年度繰越)
(1) 賞金資金	702,297	436,698	259,000	879,995
(2) 浅野資金	12,338	914	13,252	0
(3) 日立資金	84,121	16,800	0	100,921
(4) 日本発送電資金	2,100,848	400,000	500,000	2,000,848
(5) 東北配電資金	140,203	100,000	100,000	140,203
(6) 九州配電資金	24,591	119,000	50,000	93,591
(7) 桜井資金	1,119,017	1,132,000	741,905	1,509,112
合 計	4,183,415	2,205,412	1,664,157	4,724,670

〔使途〕 (1)～(6) 賞金及び賞牌作製費 (7) 電力関係国際会議出席費補助
(2) 浅野資金を賞金資金へ組入れた為利子も組入れる。

(7) 貸借対照表

(昭和49年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	公 益	収 益	計	科 目	公 益	収 益	計
現 金	368,494	0	368,494	未 払 金	272,000	12,352,378	12,624,378
銀 行 預 金	26,549,487	0	26,549,487	前 受 金	10,177,517	26,472,458	36,649,975
信 託 預 金	28,560,000	0	28,560,000	仮 受 金	292,175	4,859,040	5,151,215
振 替 預 金	1,287,956	0	1,287,956	納 税 預 り 金	1,504,695	0	1,504,695
売 掛 金	0	7,222,938	7,222,938	納 税 引 当 金	0	104,560	104,560
受 取 手 形	230,000	270,000	500,000	退職給与引当金	0	6,705,197	6,705,197
未 収 入 金	462,644	6,662,518	7,125,162	職員退職積立金	4,000,000	0	4,000,000
商 品	0	9,335,218	9,335,218	貸 倒 引 当 金	0	250,000	250,000
有 価 証 券	38,101,915	0	38,101,915	価格変動準備金	0	280,000	280,000
立 替 金	943,036	0	943,036	名 簿 引 当 金	1,500,000	0	1,500,000
委託研究費	2,390,011	0	2,390,011	図書購入引当金	6,165,952	0	6,165,952
敷 金	8,359,223	0	8,359,223	別途調査費勘定	5,628,668	0	5,628,668
仮 払 金	1,529,858	1,208,701	2,738,559	東京支部勘定	605,608	0	605,608
設 備 造 作	180,000	0	180,000	資 金 利 子 勘 定	4,724,670	0	4,724,670
備 品	1,599,300	0	1,599,300	賞 金 資 金	8,560,000	0	8,560,000
公 益 勘 定	0	24,160,102	24,160,102	寄 付 金	17,212,165	0	17,212,165
				基 本 財 産	180,150	0	180,150
				収益勘定元入金	0	2,854,152	2,854,152
				特 別 積 立 金	11,669,041	1,651,244	13,320,285
				固定資産特別資金	9,044,219	0	9,044,219
				繰 越 損 失 金	0	△7,951,843	△7,951,843
				当 期 剰 余 金	4,864,962	1,282,291	6,147,253
				収 益 勘 定	24,160,102	0	24,160,102
合 計	110,561,924	48,859,477	159,421,401	合 計	110,561,924	48,859,477	159,421,401

(8) 通信教育会特別会計

収支計算書

損益計算書(昭和48年4月1日から昭和49年3月31日まで)

収 入 の 部		支 出 の 部		収 入 勘 定		支 出 勘 定	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
講 座 収 入	6,917,556	教 材 費	66,219,942	期 末 売 掛 金	31,835,869	期 首 売 掛 金	22,740,278
大 学	4,797,009	材 料 費	21,643,511	期 末 商 品	45,867,877	期 首 商 品	44,305,149
工 高	2,120,547	印 刷 費	40,484,445	期 末 原 材 料	5,639,365	期 首 原 材 料	7,883,554
配 布 収 入	114,493,441	編 修 費	4,091,986	期 末 未 収 金	249,855	期 首 未 収 金	240,800
大 学	77,759,707	業 務 費	7,402,390	期 首 未 払 金	8,874,562	期 末 未 払 金	25,967,483
工 高	36,733,734	指 導 費	3,359,348	収 入 金	125,458,485	教 材 費	66,219,942
雑 収	4,047,488	通 信 費	1,239,743	講 座 収 入	6,917,556	材 料 費	21,643,511
利 雑 収 入	4,047,488	宣 伝 費	2,803,299	配 布 収 入	114,493,441	印 刷 費	40,484,445
戻 入 金	85,000	管 理 費	57,801,553	雑 収 入	4,047,488	編 修 費	4,091,986
前 払 金	85,000	事 務 費	7,960,046	価 変 準 備 金 戻 入	2,080,000	業 務 費	7,402,390
		給 付 費	48,681,957	貸 倒 引 当 金 戻 入	410,000	指 導 費	3,359,348
		交 通 費	801,558	退 職 引 当 金 戻 入	11,088,038	通 信 費	1,239,743
		雑 費	357,992	退 職 積 立 金 戻 入	3,723,762	宣 伝 費	2,803,299
		予 備 費	2,493,880	当 期 損 失 金	1,923,336	管 理 費	57,801,553
		税 金	1,493,880			事 務 費	7,960,046
		本部繰入	1,000,000			給 付 費	48,681,957
		予 備 費	0			交 通 費	801,558
						雑 費	357,992
合 計	125,543,485	合 計	133,917,765			予 備 費	1,000,000
		差 引 残	△8,374,280			本 部 繰 入	1,000,000
当期収入計	125,543,485	当期支出計	133,917,765			価 変 準 備 金 繰 入	1,540,000
前期繰越計	2,011,277	後期繰越計	△6,363,003			貸 倒 引 当 金 繰 入	570,000
		(当座)	4,977,606			退 職 引 当 金 繰 入	1,480,000
		(証減)	△11,340,609				
合 計	127,554,762	合 計	127,554,762	合 計	237,151,149	合 計	237,151,149

貸借対照表（昭和49年3月31日現在）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	86,747	未 払 金	25,967,483
預 金	4,855,373	元 入 金	6,000,000
貯 金	35,486	別 途 積 立 金	39,500,000
有価証券	500,000	退 職 積 立 金	15,276,238
前 払 金	412,000	価 格 変 動 準 備 金	1,540,000
売 掛 金	31,835,869	貸 倒 引 当 金	570,000
商 品	45,867,877	退 職 給 与 引 当 金	1,480,000
原 材 料	5,639,365	納 税 引 当 金	804,620
未 収 金	249,855	前 期 繰 越 益 金	346,367
備 品	78,800	当 期 損 失 金	△1,923,336
合 計	89,561,372	合 計	89,561,372

損失金区分

（公収益損失金配分）

当期損失金	1,923,336	公 益 5.7%	109,630
		収 益 94.3%	1,813,706
合 計	1,923,336	合 計	1,923,336

損益金処分

当期損失金	1,923,336	後期繰越損失金	1,576,969
前期繰越金	346,367		
合 計	1,576,969	合 計	1,576,969

昭和49年度予算（案）

収 入 の 部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入	51,733,000	63,812,000	115,545,000
正 員 会 費	17,432,000	58,360,000	75,792,000
准 員 会 費	0	2,208,000	2,208,000
入 会 金	360,000	0	360,000
終 身 会 費 取 ぐ ず し 金	0	330,000	330,000
維 持 員 会 費	33,941,000	2,914,000	36,855,000
雑 誌・論 文 誌 収 入	0	49,953,000	49,953,000
頒 布 収 入	0	13,431,000	13,431,000
広 告 収 入	0	36,522,000	36,522,000
図 書 収 入	0	48,445,000	48,445,000
頒 布 収 入	0	47,335,000	47,335,000
広 告 収 入	0	1,110,000	1,110,000
調 査 資 料 収 入	11,560,000	0	11,560,000
講 習 会 収 入	6,500,000	0	6,500,000
合 計	69,793,000	162,210,000	232,003,000
雑 収 入	21,000	514,000	535,000
利 子 収 入	3,900,000	0	3,900,000
補 助 金	1,000,000	0	1,000,000
図 書 室 複 写 収 入	1,890,000	0	1,890,000
資 金 利 子 収 入 繰 入 金	1,200,000	0	1,200,000
通 信 教 育 会 繰 入 金	1,200,000	0	1,200,000
図 書 室 設 置 資 金 繰 入 金	1,400,000	0	1,400,000
前 期 名 簿 繰 越 金 繰 入 金	1,500,000	0	1,500,000
総 合 計	81,904,000	162,724,000	244,628,000

支 出 の 部

科	目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所	費	3,083,000	7,193,000	10,276,000
事 務	費	3,199,000	7,464,000	10,663,000
人 件	費	28,676,000	41,478,000	70,154,000
諸 会	費	236,000	0	236,000
支 部	費	8,500,000	0	8,500,000
大 会	費	500,000	0	500,000
賞 金	費	1,800,000	0	1,800,000
複 写	費	890,000	0	890,000
図 書 室	費	5,360,000	0	5,360,000
講 習 会	費	2,310,000	0	2,310,000
電 気 規 格 調 査 会	費	7,634,000	0	7,634,000
調 査 研 究 委 員 会	費	10,210,000	0	10,210,000
研 究 専 門 委 員 会	費	8,589,000	0	8,589,000
連 合 調 査	費	297,000	0	297,000
調 査 雑	費	250,000	0	250,000
雑 誌 ・ 論 文 誌 出 版	費	0	73,548,000	73,548,000
図 書 出 版	費	0	32,880,000	32,880,000
総 合 計		81,534,000	162,563,000	244,097,000
収 支 差 額		370,000	161,000	531,000

通信教育会計 収支予算

科	目	収 入	科	目	支 出
講 座 収 入	(含雑収入)	10,540,000	教 材	材 料 費	32,140,000
配 布 収 入		165,310,000	費	印 刷 費	50,160,000
				編 修 費	26,120,000
			業 務 費		9,790,000
			管 理 費		53,990,000
			予 備 費		3,650,000
合 計		175,850,000	合 計		175,850,000